

平成28年度
四倉中学校

学校だより

4月19日(火) 第2号

文責 校長 中根 猛

修学旅行・遠足を終えて

3年生の修学旅行が、4月12日(火)から14日(木)までの2泊3日で行われました。旅行先は、大阪、京都方面で実施しました。3学年生徒103名全員が参加し、たくさんの良き思い出とともに、14日午後5時過ぎに四倉駅に到着し解散式を行い無事、旅行を終えることができました。今回は、今まで実施したことがない新たな旅行地である大阪、京都であったこと。大阪へは、羽田空港から伊丹空港まで飛行機を利用したこと。旅費の節約のために貸し切りバスの移動を最小限におさえ公的な交通機関を活用したことなどが特徴としてあげられます。また、旅行実施の前の週までインフルエンザの流行が心配されましたが、出席停止になる限度の4月6日までには流行も下火となり全員が参加できました。いくつか印象に残った出来事を紹介します。

<空港・飛行機の中で>

手荷物検査で、ベルトのバックルが反応して再検査。安全確保のために検査は厳しいです。離陸直後や着陸前などで、エアポケットに落ち込むような急な降下に、悲鳴があがりました。まるで、ジェットコースターに乗っているようなスリルを味わいました。

<電車の移動もスムーズ>

大阪ユニバーサルシティ駅から京都まで、大阪駅での乗り換えをして京都駅に無事に到着。3日目のクラス別研修では、京都市内を地下鉄等を利用して移動。京都から四倉までは、東海道新幹線、JR特急、在来線乗り継いでスムーズに移動することができました。経費面や時間どおりの運行、車中での楽しい交流など列車利用の良さも確認できました。

<京都市内の班別研修～迷路からの脱出～>

京都駅西口で解散して、京都市内の班別研修に向かいました。駅を一步出た時、京都の町の大きさ、人の多さ、たくさんの観光客特に外国人の多さ、複雑なバス路線などに圧倒されて不安げな面持ちで京都の町に踏み出した皆さんでしたが、迷いながらも計画変更を上手に行って無事、旅館に到着できました。安堵の表情と自信がついたような誇らしい様子が見られました。それにしても、京都の町は複雑です。大きな通りにはさまれた古い街並みの路地に入り込むと方向感覚を失います。まさに迷路。班に一台のGPS機能付きの携帯電話が活躍しました。本部で対応した日塔先生からの的確な指示で、なんとか脱出に成功した班もありました。お疲れ様でした。

<舞妓さんとともに記念撮影>

京都での夜は、舞妓さんの舞を鑑賞したり、クイズに挑戦したりして楽しく過ごすことができました。旅館の支配人さんから舞妓さんについての基礎的な知識を教えていただき、16歳の舞妓さん千賀明(ちかさや)さんの舞を鑑賞しました。また、クイズコーナーもあって正解した皆さんに縁起物の千賀明さんの千社札がプレゼントされました。最後に舞妓さんとともにクラスごとに記念撮影をしました。女子生徒の皆さんからは、「かわいい」「顔が小さい」とあこがれの声がたくさん上がっていました。

<ホテルや旅館で>

使用したタオルをきちんとたたんでおいたり、感謝のメッセージを書き残したりした心配りのできる行いが見られました。二泊目の旅館の大浴場では、一番最後に入浴した4組の男子のある生徒は、自分のタオルで濡れた床を拭いてくれました。

<京都の旅館、ギオン福住さんのお見送り>

3日目、京都駅の新幹線ホームにギオン福住さんの女将さんたち3名の皆さんがお見送りに来てくださいました。京都のおもてなしの心に感激しました。

1、2年生は、13日に遠足を実施しました。1年生がアクアワールド大洗、めんたいパーク。2年生が修学旅行の事前練習を兼ねた会津若松市内の班別自主研修を行いました。新しい学級での最初の行事を成功させて級友との親睦が図れたとともに、楽しい時間を一緒に過ごして学級のまとまりがはぐくまれたようです。遠足や旅行をまとめた新聞などの掲示物が楽しみです。

